

2019年9月25日

香川大学医学部附属病院呼吸器科に勤務している看護師さんへ
(臨床研究に関する情報)

いつも病棟業務にご協力いただきありがとうございます。病棟薬剤師の山下です。現在、第58回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会の研究課題として、「処方カレンダー導入に伴うインシデント発現状況の解析」と題する調査を実施しています。

この調査は、当院で処方カレンダーを導入・活用する前後における内服インシデント発現状況を解析し、アンケートを用いて処方カレンダー導入後の問題点を抽出する目的があります。

処方カレンダーを導入することで長崎大学病院は処方インシデント率が3年間で20.1%から8.1%に減少したと報告しており、導入すればインシデント率が減少することが予想されます。こうした研究は、問題点を明らかにし、今後の日常業務を改善するために不可欠な情報をもたらすことが期待できます。しかしながら、研究の知見をより頑健なものとするには、多くの処方カレンダーを实际使用している看護師さんに協力していただくことがどうしても必要です。大変ご多忙のことと拝察いたしますが、調査へのご理解をいただければ幸いです。何卒、ご理解とアンケートのご協力をお願い申し上げます。

本研究は、「ヘルシンキ宣言(2013年フォルタレザ改訂)」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(平成26年12月22日制定、平成29年2月28日一部改正。文部科学省・厚生労働省)」を遵守の上で実施しております。本研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への協力を拒否された場合も不利益を受けることはありませんが、無記名でのアンケート調査であるためアンケート調査の集計から削除することはできません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 処方カレンダー導入に伴うインシデント発現状況の解析

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 薬剤部 山下紗矢佳

この研究について、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用するアンケートの収集結果等に関しては、研究者の責任のもと厳重に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、無記名のアンケート調査であり、あなたの名前などの個人的情報は一切わかりませんのでプライバシーは守られます。またあなたに紐づく情報は一切わからないようにします。

尚、得られた情報等は本研究終了後、すみやかに破棄します。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院薬剤部 担当 山下紗矢佳

電話 087-898-5111 FAX 087-891-2318